

学校法人ISI学園 専門学校長野ビジネス外語カレッジ

2023年度 シラバス

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	日本語コミュニケーションⅣ		（ NKT22N ）
講義名（コード）	日本語コミュニケーションⅣ A		（ NKT22NA ）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	岩岡 夏子	時間数	30
成績評価教員	岩岡 夏子	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	選択
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	通常のビジネス会話のみならず、相手の心情を理解し適切な言い回しをすることでコミュニケーション力を高めることができる。
全体の内容と概要	日本語能力試験N2の文法と語彙を学んでいく
授業時間外の学修	新出語彙の意味調べ・既習事項の復習
履修上の注意事項等	JLPT合格に向けて意欲的に授業に取り組むこと

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	ビジネスの場で社外の人とやり取りができる	文法（につきましては、Check、前期の復習） 語彙（第26回）
2	まとめ問題で8割正答できる	文法（まとめの問題） 語彙（第27回）
3	身近な話題について、自然な表現を使って話せる①	文法(なんのって、たて、ようになっている) 語彙（第28回）
4	身近な話題について、自然な表現を使って話せる②	文法（わけだ、どころか、ようじゃ、Check） 語彙（第29回）
5	自然な発話ができる①	文法（ぶって、に限って、くらいなら、まし） 語彙（第30回）
6	まとめ問題で8割正答できる	文法（Check、まとめの問題） 語彙（第1回）
7	筆者の考え方や感じ方が理解できる	文法（ものがある、まい、につけ、わりには） 語彙（第2回）
8	エッセーを読んで筆者の考え方や感じ方が理解できる①	文法（Check、かのうち、げ、やらやら） 語彙（第3回）
9	エッセーを読んで筆者の考え方や感じ方が理解できる②	文法（かと思うと、Check、まとめの問題） 語彙（第4回）
10	雑誌などの紹介記事を読んで、理解できる	文法（にほかならない、にすぎない、上） 語彙（第5回）
11	雑誌などの紹介記事を読んで、理解できる	文法（といっても、に限る、だけあって） 語彙（第6回）
12	まとめ問題で8割正答できる	文法（にしろにしろ、Check、まとめ問題） 語彙（第7回）
13	会議で説明したり、意見を言ったりできる	文法（にそって、にかけては、ないことには） 語彙（第8回）
14	まとめと解説	期末試験
15	まとめと解説	期末試験FB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	TRY！日本語応力試験N2 パワードリルN2文法→ドリル&ドリルN2文字語彙
参考文献・資料等	
備考	